

現在進行中の改革事例のご紹介



流山市長 井崎 義治



流山市における 現在進行中の改革事例

- (1) 2つのPPPによる
第二世代の公共FM
- (2) 流山おおたかの森駅前
市有地活用事業

(1) 2つのPPPによる 第二世代の公共FM



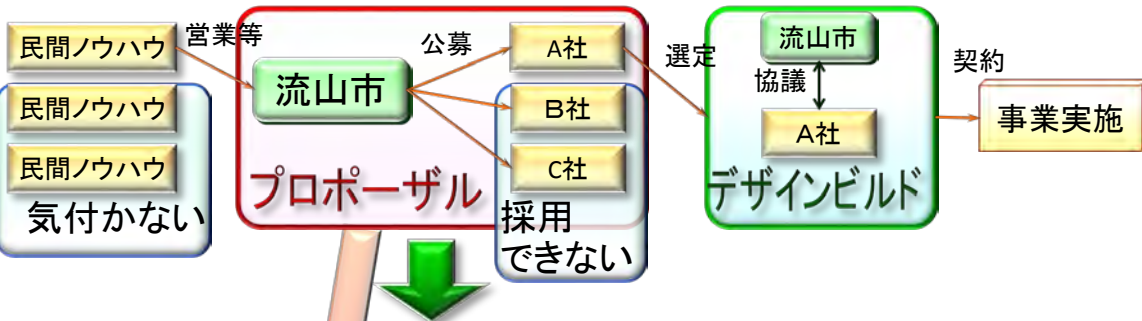
(1) FM施策の事業者提案制度



・流山市のFMは「2つのPPP※」により先進自治体の事例をアレンジして積極実践

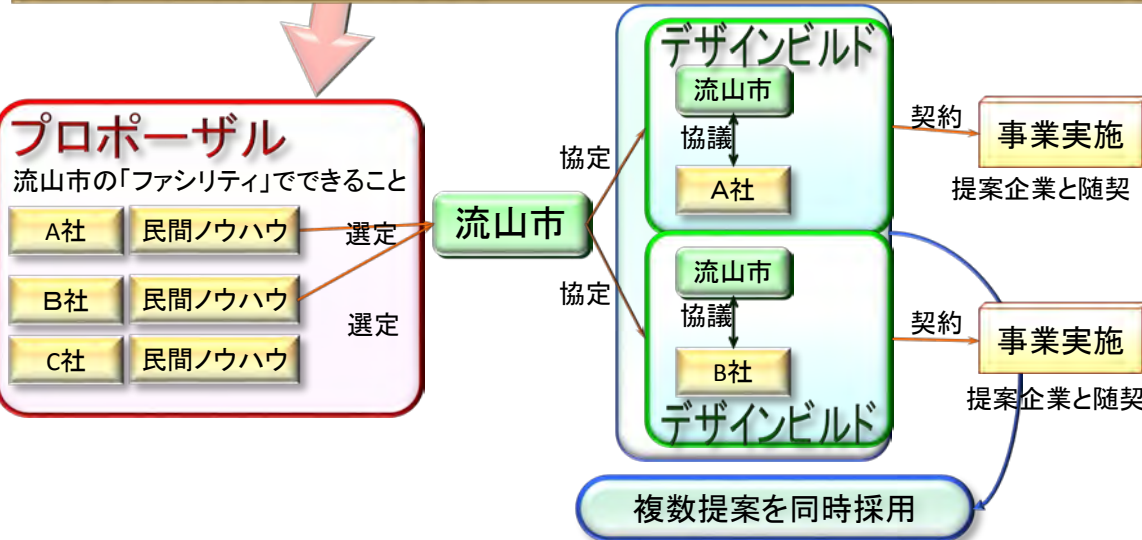
⇒民間提案を基に複数のFM施策を実施

●通常のFM(民間提案型)



契約方法	協議成立時に随意契約
業者選定	プロポーザル(A4:1枚+α)
報酬	<ul style="list-style-type: none"> ・既存予算の付け替え ・予算の削減相当額 ・広告料等の収入・補助金等 (・新規に予算設定)
提案条件	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファシリティ」を活用した事業 ・新たな財政負担が生じない
備考	提案は全体公募+随時受付

●事業者提案制度



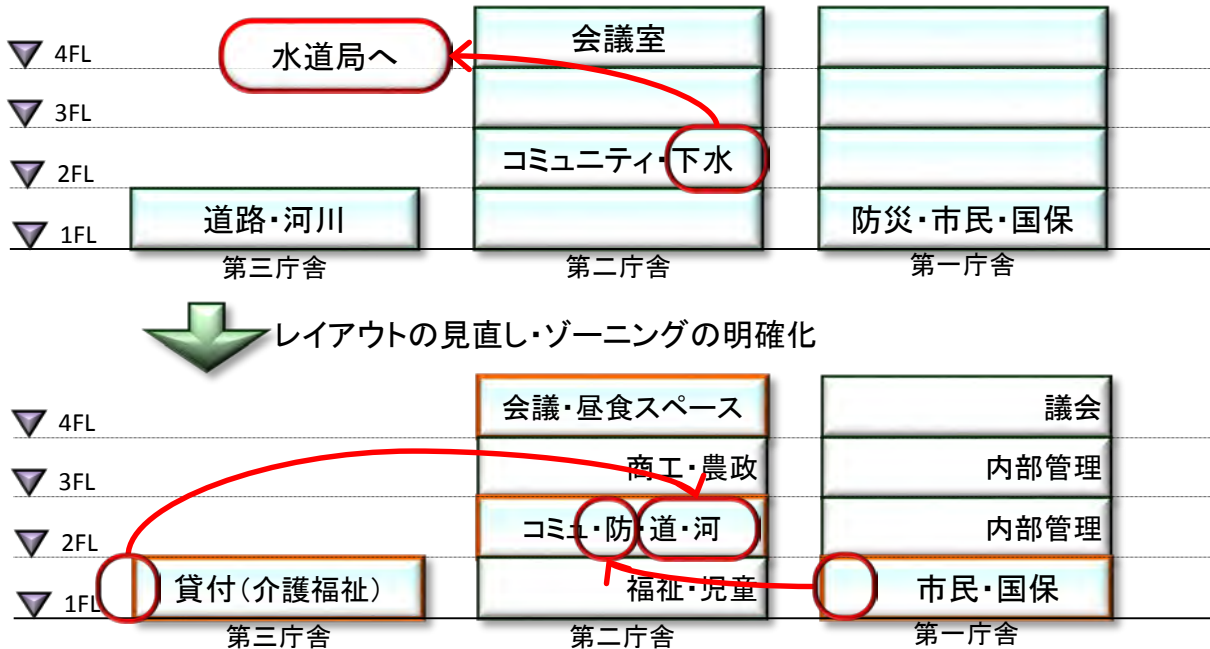
市のメリット	事業者メリット
<ul style="list-style-type: none"> ・広範・効率的FM ・積極的な民間活用 ・事務コスト低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社ノウハウの活用 ・自由度の高い提案 ・自社提案による報酬



随意契約の保証により自由度の高い民間提案を公募・全庁一丸体制による協議で事業化

(2)ゼロ予算・民間ノウハウによる窓口環境の快適化

現在進行中の改革事例
 (1) 2つのPPPによる第二世代の公共FM



●新たな財政負担なしで庁舎環境整備

第三庁舎貸付	24,000千円/5年=4,800千円×5年
包括委託見直し	15,000千円/5年=3,000千円×5年
計	39,000千円/5年=7,800千円×5年

= 庁舎整備費(39,000千円)

「庁舎の什器備品の整備<福祉・安心安全>で
 プライオリティは低い⇒一般財源の投入は困難

市民の方々から納付して
 いただく税金はできるだけ
 「直接」の市民サービスへ

余剰空間の民間貸付により資金を調達し、イニシャルコストゼロで窓口環境を快適化

(3) 窓口環境の快適化について(改修前と改修後)

現在進行中の改革事例

(1) 2つのPPPによる第二世代の公共FM

●改修前



●改修後



レイアウト・アンケート・文書量等を分析し、抽出された課題を長所に変える環境の快適化

(4) 事業化提案制度の協議対象案件一覧

現在進行中の改革事例

(1) 2つのPPPによる第二世代の公共FM

● 協議対象案件の提案名と提案代表事業者

- ・イニシャルコストゼロの窓口環境快適化(大成有楽不動産)
- ・市営住宅管理業務の民間委託(大成有楽不動産)
- ・おおたかの森小・中学校での施工マネジメント(明豊ファシリティワークス)
大規模建設工場の現場における民間事業者によるコスト管理
- ・小中学校等での屋根貸太陽光(京和ガス)
- ・自由通路高架下の未利用地での防災カフェ(チームおおたかの森)
地域のNPOが災害時の防災拠点整備、平常時はカフェ・コミュニティスペース
- ・未利用地貸付による防災備蓄倉庫整備(三井住友建設)
- ・市街化調整区域内の未利用地での太陽光(京和住設)

民間事業者の創意工夫による多様な提案を協議対象案件に採択、事業化